

外贸业务日语:日语学习之敬语例集 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/269/2021_2022__E5_A4_96_E8_B4_B8_E4_B8_9A_E5_c67_269400.htm 敬语例集 电话 正しい

言葉使いは、ビジネスシーンなどでの人間系を滑にする大切な要素。敬語はぜひ押さえておきたい。次の敬語には誤りがある。適切な言い方に直してチェックしてみよう。1.

(信) 高木ですが、松本さんをお願いします。 「高木ですが」は、全く知らない人の場合にはなれなれしさを感じさせる。自分がどこの誰かをきちんとえるとともに、「お願いします」よりも「いらっしゃいますか?」と丁寧に言う。良 「三商事の高木と申します。松本さんは、いらっしゃいますか?」

2. (信) (相手が不在で) えてくれますか(えてもらえますか) おえくださいますか 「えていただけますか」「おえいただけますか」など丁寧にいう。

もしくは以下のように。良 「言をお願いしたいのですが」

3. (信) (言をんだので、相手の名前を確認します) おたくの名前は? 「どちらさん?」と同じように、つけんどんな聞き方。良 「失礼ですが、どちらさまでいらっしゃいますか」

4. (信) 何時ごろが都合がよいですか。

先方(顧客)の「都合」なので、「ご」をつける。また、「よいですか」も丁寧に言う。良 「何時ごろがご都合がよろしいでしょうか」

5. (着信) 申しありませんが、お声が小さくて聞き取れません。 聞こえにくいのを、「声が小さい」と相手の責任にしている。良 「申しございません。お電話が少々遠いようですが」

6. (着信) 部長は席

をはずしております。 この場合は「部長」ではなく名前で「横田は」とか「部長の横田は」という表現にすべきである。 良 「部長の横田はただいま席をはずしております」7. (着信) 参られる時は、お電話ください。 「参る」は謙語。「れる」をつけても尊敬語にならない。 良 「お越しになる(いらっしゃる)時は、(ご面倒でも)お電話ください」8. (着信) 今日はお休みをいただいております。「お」はつけない。「休ませて」を用いる。 良 「申しございません。本日は休ませていただいております」9. (外出中の部長あてに電話が入ったが、部長のり時間はわからない場合申しませんが、(り時間は)伺っておりませんのでわかりません。)「伺う」は「聞く」の謙語。この言い方では身内にする尊敬表現になっている。 良 「申しございません。りの時間はわかりかねますが…」10. (着信) 課長が「明日連絡する」とえるようにとおっしゃいました。 課長の言葉をそのままえるのではなく、敬語に翻す。「おっしゃった」は尊敬語なので、この場合は不適切。 良 「課長の山田が明日ご連絡を差し上げると申ししておりました」11. (着信) すぐ、とりに行きます。「とりに行きます」では先方(顧客)にして謙や尊敬の持ちがわからない。「すぐ受け取りに参ります」「ただいまいただきにあがります」でもよいが、少々クドい。 良 「ただいまうかがいます」12. (着信) (奥に) 松本はただいま席をはずしています。 奥は松本さんの身内なので「さん」をつけ、「～していらっしゃいます」と尊敬表現にする。 良 「松本さんは、ただいま席をはずしていらっしゃいま

す」敬語例集 接客 1. (社内の) どなたをお惚びしましょうか。 自分側の人に尊敬表現「どなた」を使っている。良 「だれをお惚びしましょうか」 2. ただいま部長が見えますので、お待ちください。 「見える」は「来る」の尊敬語.社内の人間にしては使わない。上司であっても外的には「来る」の謙語「参る」を使う。良 「ただいま部長が参りますので、少々お待ちください」 3. 部長が、そうおっしゃっていました。 「おっしゃる」は「言う」の尊敬語.外部(顧客)との話で身内にする尊敬表現はおかしい。「そう」も丁寧に「そのように」とする。良 「部長がそのように申しておりました」 4. 課長がご明になります。 「ご明になります」は尊敬語なので誤り。自分の上司のことであっても、お客の前では謙語を使う。良 「××の件につきまして、中村がご明申し上げます」 5. 資料は、担当のものからいただいでください。 「いただく」は「もらう」の謙語.来客には、表現をえて尊敬語にする。良 「資料は(お手数ですが)担当のものからお受け取りください」 6. 足下にご注意してください。 「ご~してください」は、「ご~する」の謙語に「ください」がついた形だが、これは誤り。また、相手の足下なので「お」をつける。良 「お足下にご注意ください」 7. うちの会社においでになったのは、初めてですか。 来客にしては謙虚さを示し、「私ども」と范をげて言うのが正しい表現。「~でいらっしゃいますか」と丁寧な尊敬表現をすればさらによい。良 「私どもの会社においでになったのは、初めてでいらっしゃいますか」 8. 失礼ですが、住所はどこですか。 取引先に

尋ねるので「ご」をつけ、「どちらでいらっしゃいますか」と丁寧に言う。良 「失礼ですが、ご住所はどちらでいらっしゃいますか」9.わかりました。他にありませんか。

敬語を使って同意するときは「わかりました」ではなく、「かしこまりました」や「承知いたしました」を使う。また、「ありませんか」より「ございませんか」と丁寧に言う。良 「かしこまりました。他になにかございませんか」10.なるべく早くお召し上がりになってください。

お + 尊敬語 + になる、と尊敬語が重なっているので省く。良 「なるべく早く召し上がってください」11.こちらでお召し上がりになられますか？ この文には食べる、飲むの尊敬語「召す」食べるの尊敬語「あがる」尊敬表現の「お（ご）～になる」尊敬の助動詞「れる」が含まれていて、过敬語になっている。良 「こちらで召し上がりますか」12.コヒ、红茶、どちらにいたしますか？ 「いたす」

は「する」の謙語.飲み物を選ぶのは相手なので、尊敬表現を使う。良 「コヒ、红茶、どちらになさいますか？」13.そちらの山田部長によろしく申し上げます。相手の行為に謙語「申し上げる」を使っているので、間違い。

良 「そちらの山田部長（さん）にどうぞよろしくおえください」14.お名前は、これでいいでしょうか。「お名前」「でしよう」で丁寧な表現をしているが、「いい」に敬意がわれていない。良 「お名前は、こちらでよろしいでしょうか」15.本日はどうもご苦さまでございました。

「ご苦」は上から下へ、あるいは同位の人にをねぎらう言葉なので、「ご苦」の下に「さま」をつけても間違い。

良 「本日は大お疲れでございました」敬语例集 社内 1. 課長、お客を連れてきました。 お客の面前ではもちろんのこと、たとえ相手に聞こえていなくても敬语を使う。 良 「課長、お客をご案内して参りました（お連れいたしました）」 2. （上司に）この書類は、 会社のどなたに渡すのですか。 顧客には、敬称の「さん」をつける。「渡す」も「お」をつけて丁寧に。 良 「この書類は、会社さんのどなたにお渡しするのでしょうか」 3. （企画書を提出するとき）よければ見てもらいたいのですが…。 「よければ」を丁寧に。「見る」は「ご」と尊敬語に。「もらいたい」も謙語を使って「いただきたい」と丁寧に言う。 良 「よろしければごいただけますか…」 4. この方法について部長の考えを聞かせてもらえませんか。 教えるを乞う持ちを言葉に表すのがポイント。「考え」を「お」をつけて丁寧に。「もらう」も尊敬表現にえる。 良 「この方法について部長のお考えをお聞かせ願えませんか」 5. 部長、田中常務が唸んでいます。 会話の相手と第三者が上位者の場合、それぞれへの敬意をこめた表現を使う。この場合、「 ています」より「 でございます」を使うと、目の前の部長を敬っている表現になる。 良 「部長、田中常務がお唸びでございます」 6. （上司に）そろそろ参りましょうか。 目上の人を含んだ行動に謙語の「参る」を使うのはおかしい。自分は付いていくのだから、主导のある相手の行動を促す形がよい。 良 「そろそろお出かけになりませんか」 7. （贈り物をした会社の上司からお礼を言われたとき）に入ってもらえたでしょうか。 「に入っ

て」を尊敬語の「おに召して」にえ、「もらう」は謙語の「いただく」にする。良 「おに召していただけましたでしょうか」8. (課長に) 課長、 商事から電話です。電話で聞こえないからといって、先方(顧客)の名前に敬称「さん」をつけないのは失礼。また、相手からの電話なので、「お」をつける。良 「課長、 商事さんからお電話です」9. (来客で) 加藤さん、吉田さんという方が来ています。敬意は話題になっている人物にも影響があるので、丁寧な表現にする。また、「という方」はあいまいな表現で失礼になる。相手は所属と名前を申し出ているはずなので、はっきりえる。良 「加藤さん、 銀行の吉田さんがお見えです(おいでです)」10. 明日はお休みしたいのですが。「お」は相手の言動や所有物について敬意を表す接头語.自分の行為につけるのはおかしい。良 「明日は休ませていただきたいのですが」11. 部長はお電話でご出張のご相談をなさっていらっしゃいます。敬語をいくつも重ねて過にするのは、聞いていても煩わしいもの。「お」や「ご」をいても、終りに「なさっています」と尊敬の表現にすれば、全体が敬語表現になる。良 「部長は電話で出張の相談をなさっています」12. お客がおいでになりました。「お~になる」に「れる」「られる」を加えると二重敬語になって、聞きづらい。すっきりと表現することも大切。良 「お客がおいでになりました」